



HELLO
IT'S A
NEW
DAY

ダスキンの公式ウェブサイト
www.duskin.co.jp



こんにちは 新しい毎日。

あたりまえに過ぎていく毎日。
だけど、かけがえのない日々は、
一日一日を丁寧に積み重ねることから生まれるもの。

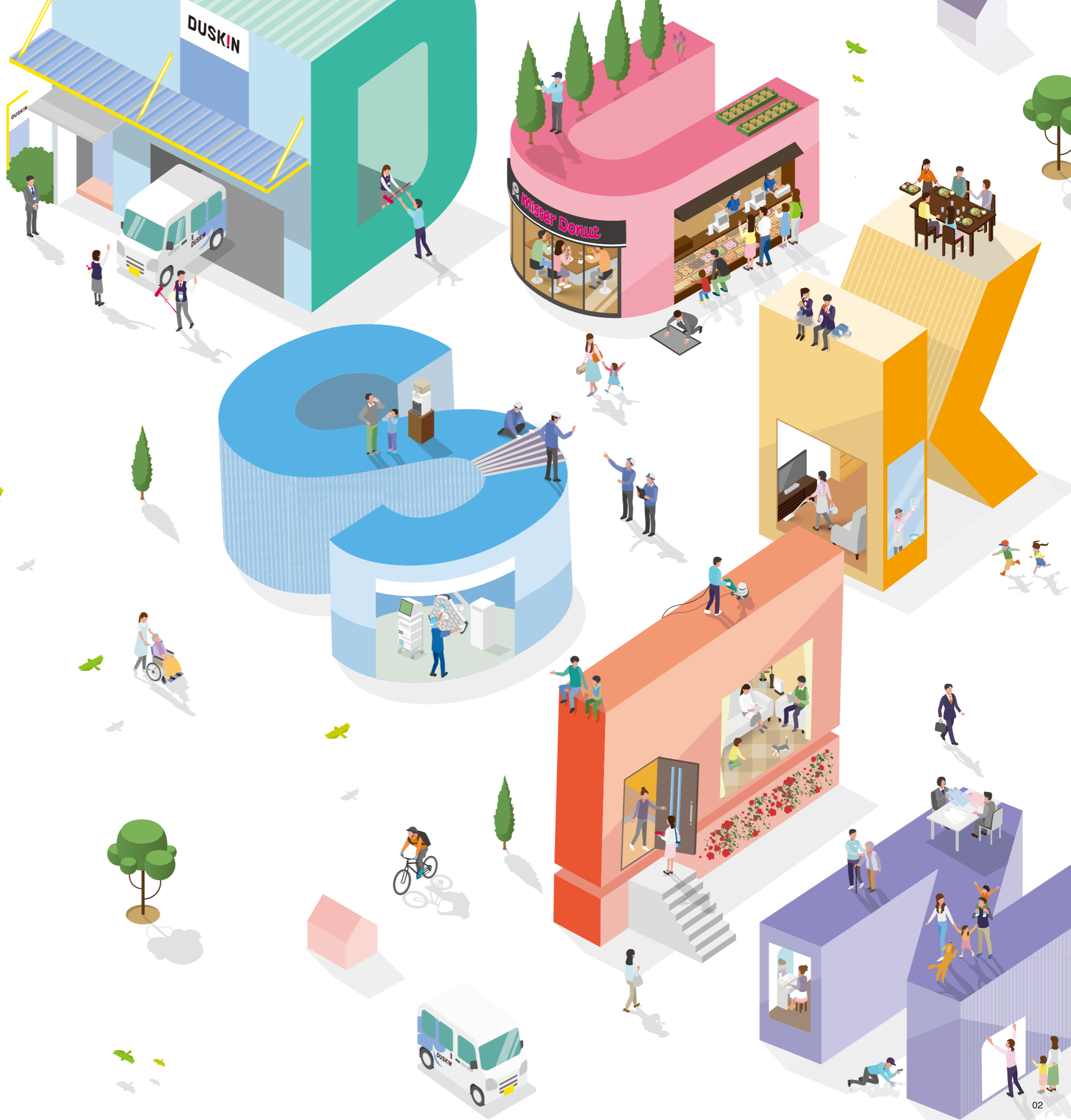
だからこそダスキンは、
お客様の暮らしのすぐそばで寄り添い、
支えることを大切にしたいのです。

“ 一日一日と今日こそは
あなたの人生が(わたしの人生が)
新しく生まれ変わるチャンスです ”

このダスキンの経営理念の一節のように、
何気ない一日を「新しい毎日」に。
そして、今日や明日、続く未来へ
ワクワクした気持ちを持てるように。

自由で柔軟な発想から、新しい豊かさを生みだし、
幸せな瞬間をつくりだしていく。
人や暮らしに“喜びのタネをまこう”。
それが、私たちダスキンの使命です。

DUSKIN
喜びのタネをまこう





1



2



3



4



5

チャレンジとアイデアで 「新しい毎日」を カタチにしつづける。

これまでに立ち上げた事業やプロジェクトは数えきれないほど。
業種の枠組みにとらわれずに、ニーズを先取りし、
世の中になくものまで、挑戦して、失敗もして、
つぎつぎに「あったらいいな」をカタチにしてきました。

目の前のお客様一人ひとりの声に、
耳を傾ける。そして想像する。
その人の暮らしを、その人の笑顔を。

驚きやうれしさがあふれる
いろんな人の「新しい毎日」を支えるために、
ダスキンは、これからも挑戦し続けます。

1:1999年2月/とんかつレストラン かつアンドかつ第1号業金山公園店がオープン 2:1986年8月/ダスキン初の浄水器「おいしい水」を発売 3:2020年11月/富士フィルム株式会社と共同開発した洗浄・除菌・抗菌ができる「TuZuKu持続除菌洗浄剤」を発売 4:1985年4月/ダスキン初の空気清浄機「くうきばん」を発表。定期的にフィルターを交換しメンテナンスを実施 5:1991年10月/男性用小便器の自動洗浄装置「ビューティークリーン」全国発売 6:1971年4月/ミスタードーナツ第1号真面目パイロットショップがオープン 7:1964年10月/初の家庭用ダストコントロール商品「ホームダスキン」全国発売 8:1970年5月/ミスタードーナツ・オブ・アメリカ社との事業提携契約に正式調印 9:1971年4月/ミスタードーナツ創業時はドーナツ143種・ドリンク11種でスタート 10:1961年5月/創業者・鈴木清一が初のアメリカ渡航へ。現地でダストコントロール事業と出会う 11:1971年9月/機能性に優れた家庭用モップ「ダスキンハイモップ」完成 12:1987年1月/日本の企業で初めてのIFA(国際フランチャイズ協会)「栄誉の殿堂賞」を受賞 13:1978年10月/家庭用の趣味・旅行・ベビー等の用品をレンタルするレントオール事業国内1号店をオープン 14:1971年1月/プロのお掃除を提供するサービスマスター事業がスタート 15:2021年3月/シンプルでコンパクトな清掃用具「MuKu」シリーズ全国導入



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15

いまこそ、 ダスキンにできることが たくさんある。



株式会社ダスキン
代表取締役会長

山村輝治

株式会社ダスキン
代表取締役 社長執行役員

大久保裕行

新経営体制のもとで 事業環境の変化に対応し、 社会課題を解決する企業に

この度、第60回定時株主総会終了後の取締役会におきまして、取締役の大久保裕行が代表取締役 社長執行役員に就任し、また代表取締役 社長執行役員の山村輝治が代表取締役会長に就任することを決議いたしました。経営体制の一層の強化・充実を図り、「中期経営方針2022」を遂行することで企業価値の更なる向上を目指してまいります。

長期戦略の最終フェーズを迎え、 さらなる進化を

新たに策定した「中期経営方針2022」は、期間を2023年3月期～2025年3月期までの3年間と設定しました。この3年間を長期戦略「ONE DUSKIN」の第3フェーズと定め、第1フェーズ、第2フェーズで作り上げた基盤を更に発展させ、「ONE DUSKIN」実現の総仕上げとして取り組みを実行してまいります。

社会のお役に立ちながら持続的な成長を目指していく“道と経済の合一”の実践のため、「中期経営方針」の基本方針に基づき3つのテーマを立てました。

1つ目は「事業ポートフォリオの変革」です。変化するお客様のお困りごとに対応できるダスキンを目指し、新商品・サービスによる事業領域の拡大とバリューチェーンの強化をはかり、事業の変革・発展につなげてまいります。また、新しい成長機会への投資を積極的に行い、事業環境変化に対応できる企業体質へと進化させてまいります。

2つ目は「経営基盤の構築」です。人材・技術などの経営資本と組織・事業などの管理体制の強化、お客様との関係強化や生産から流通までの効率化を目的としたDX推進を加速化し、経営基盤の強化に注力してまいります。

3つ目となる「社会との共生」については、循環型レンタルシステムの追求をはじめ、3R(リデュース、リユース、リサイクル)やリニューアブル、CO₂排出量削減の推進など、持続可能な社会づくりへの貢献と、企業統治体制の構築に努めてまいります。

サステナビリティを目指す 企業として

東京証券取引所の「プライム市場」に上場している企業に相応しいコーポレートガバナンス・コードへの対応など、より高いガバナンス体制の構築にも注力してまいります。

事業活動を通じて「経済」「社会」「環境」の3つの課題解決に向けたCSV(共通価値の創造)の推進と、課題解決による価値を相互に実現していくためのガバナンスを強化し、更なる企業価値の向上とSDGs(持続可能な開発目標)の目指すサステナブルな社会の発展に貢献してまいります。どのような取り組みにおいても確固たる「経営理念」に基づいて行動し、人に、社会に、「喜びのタネまき」を実践し、よりお客様から支持される集団を目指してまいります。

長期戦略

ONE DUSKIN

すべての事業が一つになってホスピタリティあふれる対応ができる企業へ。

ONLY ONE

理念を共有するフランチャイズチェーン
人と人がつながり、安心して笑顔で暮らせる街をつくり出す唯一の企業グループを目指します。

NUMBER ONE

信頼を積み重ねた地域ナンバーワンのフランチャイズ加盟店
街で最も頼れる存在であるために、お客様の要望に先回りした提案を行うことを使命といたします。

ALL FOR ONE

すべての事業・サービスが一つになってご要望にお応えする
お客様に最高のサービスをお届けするために、グループが一丸となってお客様の役に立つ存在となることを目指します。

「ONE DUSKIN」実現に向けての3つのフェーズ

第1フェーズ 中期経営方針 2015
第54期～第56期(FY2016～FY2018)

第2フェーズ 中期経営方針 2018
第57期～第59期(FY2019～FY2021)

第3フェーズ
中期経営方針 2022
第61～第63期(FY2023～FY2025)

※FY2022は、新型コロナウイルス感染症拡大の動向等を見極める準備期間としました。

経営ビジョン

「世界一 ひとにやさしいダスキン」

中期経営方針2022

〈基本方針〉

事業環境の変化に対応し、社会課題の解決に向けて事業ポートフォリオを変革することで、“道と経済の合一”(社会価値向上と経済価値向上の双方の実現)を目指す。

〈基本方針に基づく3つのテーマ〉

テーマ1	事業ポートフォリオの変革	事業環境の変化に対応し、 社会課題解決に向けた事業ポートフォリオへ変革
テーマ2	経営基盤の構築	企業価値向上のための経営基盤の強化
テーマ3	社会との共生	サステナブルな社会と経営の実現に向けた取り組み

今も、生き続ける創業者の想い。

ダスキンが最も大切にしている、お客様への「やさしさ」。

その原点は、「祈りの経営」を生涯追求した
創業者・鈴木清一の思想にあります。

「利益は喜びの取引から生まれるもの」として、
お客様の喜びを第一とする創業者の想いは、
経営理念というかたちで大切に継承され続けています。



ダスキン創業者
鈴木清一

1911年(明治44年)、愛知県碧南市に生まれる。1938年、一燈園に身を投じ托鉢求道の生活に入る。1944年、ケントクを創立。以後「道と経済の合一」を願う「祈りの経営」について生涯を通じて追求。1963年、ダスキン創業。日本初の複合フランチャイズ企業の道を開く。1980年、68歳で永眠。

祈りの経営ダスキン 経営理念

一日一日と今日こそは
あなたの人生が(わたしの人生が)
新しく生まれ変わるチャンスです
自分に対しては
損と得とあらば損の道をゆくこと
他人に対しては
喜びのタネまきをすること
我も他も(わたしもあなたも)
物心共に豊かになり(物も心も豊かになり)
生きがいのある世の中にする 合掌

ありがとうございました

経営理念は、現在も毎日全員で唱和され、確認され続けています。
フランチャイズに加盟する際も、ダスキンへ入社する際も、この
経営理念に賛同していることが条件となっています。

※創業者・鈴木清一(1976年元旦、中之島公会堂前にて)

確固たる経営理念に基づき

フランチャイズという仕組みで

祈りの経営の実現を目指します。

経営理念 4つのステップ

1 日々、「新しく生まれ変わることを」願います
経営は経営者のものだけでなく、
経営の参加者として社員一人ひとりが自己変革を目指します。

2 人間性を何よりも大事にします
利益が生じるとき、自分の立場からはあえて
「損の道を行くこと」を選びます。

3 人に本当に喜んでもらえることを進んで行います
相手に対しては「喜びのタネをまくこと」。
ダスキンの各事業は、この精神の実践です。

4 人のために尽くし、お互いが生きがいを持てる
世の中にするを願って行動します
「心の豊かさ」は、集めるのではなく、人に捧げることです。

祈りの経営

理念を実現するためのフランチャイズ

ダスキンの理念に賛同していただける方々に、ダストコントロール事業をビジネスチャンスとしてほしいとの思いから、フランチャイズシステムを導入。
この仕組みによって、経営理念が加盟店にまで脈々と受け継がれ、ダスキンに携わる一人ひとりが同じ想いで経営を支えることを可能にしています。



1964年 ダスキンフランチャイズチェーン
全国加盟店研修会

一人でも多くの人に、 「喜びのタネ」をお届けしたい。

人に、暮らしに、街に、「やさしさ」と「喜び」をお届けするために、
お客様一人ひとりの想いにしっかり寄り添い、きちんとお応えする。
それがずっと変わらない、ダスキンのスタイルです。



寄り添う

お客様のもとに、商品やサービスを提供するだけでなく、お困りごとをお伺いしたり、一歩先のご提案を通して、お客様の想いにしっかり寄り添います。

つくる

お客様の暮らしをみつめ、声に耳を傾け、柔軟なアイデアで商品・サービスをカタチにしています。もっとお客様に喜んでいただくために、日々試行錯誤を重ねています。

DUSKIN STYLE



つながる

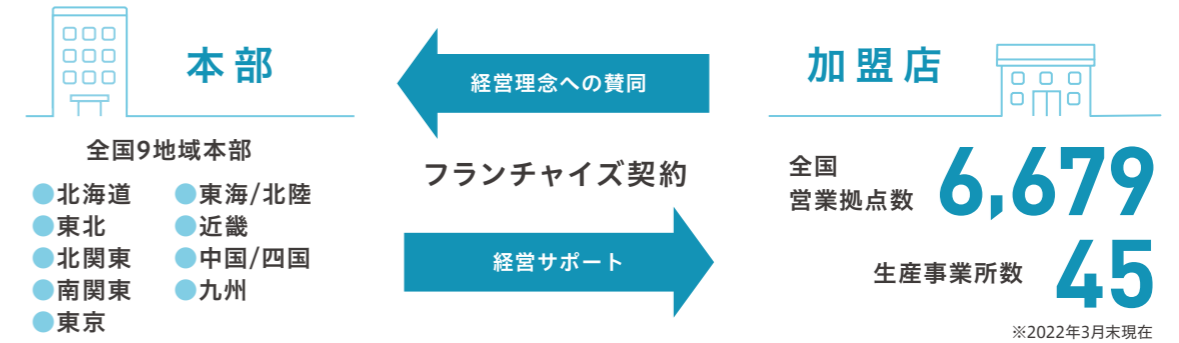
訪問販売の活動や店舗での接点以外に、顧客窓口としてコンタクトセンターやお客さまセンターを設置。また、インターネットでの商品オーダーシステムの導入や会員サイトの充実など、お客様といつでもつながる身近で便利なダスキンを目指します。

広げる

ダスキンは「フランチャイズシステム」を1964年にアメリカから持ち帰り、日本に根付かせました。その後またたくまにビジネスフィールドを拡大。国や地域を問わず、あらゆる場所で信頼されるダスキンを目指します。

ダスキンのフランチャイズシステム

ダスキンは、多岐にわたる事業を独自のフランチャイズシステムで展開しています。「フランチャイズ本部」と「加盟店」が同じ経営理念を共有し、共同事業の精神のもと、共に成長を目指していく。ビジネスという枠を超えた強い“絆”により、類いまれな結束力・組織力をもつのが、ダスキンのフランチャイズの強みです。



人の生涯をテーマにした幅広い事業展開

時代と共に多様化していく暮らしをみつめ、毎日をより豊かに整えていきたい。ダスキンは幅広い事業展開で、あらゆるライフステージのお客様一人ひとりにしっかり寄り添い、サポートします。



お客様の声を聞くことが“原点”

ダスキンはお客様の声をなによりも大切にしています。多様化するお客様のニーズにきちんとお応えするための仕組みを整えて、厳しいご意見にもしっかり耳を傾け、お客様のお役に立てるようさらなる成長を目指しています。



ダスキンの事業

ダスキンは、日本全国に多様な事業の拠点・店舗を展開し、お客様のニーズにお応えする商品・サービスをお届けしています。

訪販グループ

衛生環境を整える DUSKIN

クリーンサービス
清掃・衛生用品の
レンタルと販売

- クリーンサービス事業 6つのカテゴリー (契約加盟数)
- ダストコントロール(1,852)
 - クリーンサービス(1,576)
 - エアークontrol(1,525)
 - ウォーターコントロール(1,607)
 - ワイプフルサービス(1,457)
 - ドリンクサービス(709)

プロのおそうじ ServiceMASTER

サービスマスター
プロのお掃除
サービス
1,159拠点

害虫駆除・総合衛生管理 TERMINIX

ターミニックス
害虫獣の駆除と
総合衛生管理
560拠点

家事の代行 merry maids

メリーメイド
家事代行
サービス
773拠点

緑と花のお手入れ Total Green

トータルグリーン
緑と花のお手入れ
サービス
155拠点

住まいの補修 HomeRepair

ホームリペア
住まいの
ピンポイント補修
95拠点

ユニフォームのトータルサポート UNIFORM SERVICE

ユニフォームサービス
ユニフォームのリース・
販売とクリーニング
215拠点

自然派の化粧品 Health & Beauty

ヘルス&ビューティ
自然派化粧品と
健康食品の販売
462拠点

ダスキン レントオール DUSKIN RENT-ALL

レントオール
イベント総合サポートと
各種用品のレンタル
102拠点
(内、ペーパー用品取扱:57拠点)

ヘルスレント Health Rent

ヘルスレント
介護用品・福祉用具の
レンタルと販売
172拠点

ダスキン ライフケア Life Care

ダスキン ライフケア
ご高齢者の暮らしの
お手伝い
94拠点

主な関係会社

(株)ダスキンヘルスケア	アザレプロダクツ(株)	共和化粧品工業(株)	中外産業(株)	(株)EDIST
医療・福祉施設の 衛生管理	化粧品製造 及び販売	化粧品製造 及び販売	ユニフォームの 企画及び販売	洋服等のレンタル

※拠点数・契約加盟数・店舗数(2022年3月末現在/国内のみ)
※訪販グループの拠点数は事業加盟数です。 ※拠点には複数の事業を兼任する店舗があるため、実際の店舗数とは異なります。

フードグループ



ミスタードーナツ
手づくりドーナツと
多彩なメニュー
978店



パイフェイス
オーストラリア発祥の
パイ専門店
2店



モスド
ハンバーガーと
ドーナツのお店
1店

※(株)モスフードサービスと
資本・業務提携契約を締結
しています。

主な関係会社



(株)かつアンドかつ
飲食店経営



(株)エバーフレッシュ函館
冷凍食品製造業

海外展開

世界から導入したビジネスモデルを
国や地域にあわせて進化させ、
成長著しいアジアを中心に
積極的に展開しています。



DUSKIN

ダストコントロール
世界に広がる「キレイ」の輪
1994年に台湾で海外展開を
スタート。2006年には経済
成長が著しい中国(上海)へ
進出し、家庭市場・事業所市
場の開拓を順調に進めてい
ます。

2地域
台湾、中国(上海)
25拠点



ミスタードーナツ
「おいしさ」は国境を越えて
台湾、タイ、フィリピン、イン
ドネシアの4つの国と地域
に出店。ミスタードーナツの
おいしさは海外でも愛され
ています。

4地域
台湾、タイ、フィリピン、インドネシア
9,557拠点



ビッグアップル
海外ブランドとの融合
マレーシアを中心に展開して
いるドーナツブランド「ビッグ
アップル」を2017年に子会社
化し、これまで培ってきたダ
スキンのノウハウと融合して
事業展開しています。

2地域
マレーシア、カンボジア
81拠点

※海外子会社営業拠点数(2021年12月末) ※ミスタードーナツ事業の拠点数は、マスターフランチャイズ契約先の店舗数を含みます。



ダスキンだから できること。

生活様式が変わると共に「衛生」に対する考え方も
大きく変化を遂げています。

だからこそダスキンはグループ一丸となって
「清潔・キレイ」のサポートをはじめとする幅広い事業展開で
お客様の毎日に寄り添います。



お客様一人ひとりの 「あたりまえの毎日」を まもるために。

訪販グループは、多様化するお客様の暮らしや働き方に合わせ
「衛生」「ワークライフマネジメント」「高齢者サポート」の
3つの領域において、生活調律の実現を目指します。
なかでも、長年培ってきたノウハウを活かし
衛生サービスのプロとして、
「衛生環境を整える」ことに注力します。





衛生環境を整える
DUSKIN
クリーンサービス



清掃・衛生用品の
レンタルと販売

ご家庭やオフィス・店舗をいつも清潔・快適に。お客様係が訪問し、清掃・衛生用品のレンタルと販売をはじめ、お客様の暮らしや職場に合わせた快適な環境づくりをご提案します。

暮らしのリズムを整える
定期レンタルサービス

ダスキンでは定期的にお客様先に訪問して商品をお届けしています。マネジャーやハーティなどと呼ばれるお客様係が、お客様のお困りごとをサポートします。

お客様係約 **60,400**人
※2022年3月末現在



クリーンサービス事業
6つのカテゴリー

暮らしをキレイにする商品や、快適で衛生的な暮らしをサポートする商品、生活を便利にする商品など、お客様のお役に立ち、喜んでいただけるものを幅広くご用意しています。

ダストコントロール

契約加盟数: 1,852

モップやクロス、マットなど、暮らしや環境の清潔・快適を維持する商品をお届けします。



クリーンサービス

契約加盟数: 1,576

洗面所やトイレといった化粧室まわりのスペースを、清潔で衛生的に維持管理。快適な環境を高める衛生商品をお届けします。



エアーコントロール

契約加盟数: 1,525

空気清浄機・脱臭機などのフィルターの定期交換と本体メンテナンスなどのサービスで、快適な空気環境をサポートします。



ウォーターコントロール

契約加盟数: 1,607

定期的なカートリッジ交換で、浄水器、浴室用浄水シャワーなどを衛生的にお使いいただけます。



ワイプフルサービス

契約加盟数: 1,457

産業用に開発した良質ウエスなどをお届け。製造・整備工場といった施設の好環境づくりをトータルにサポートします。



ドリンクサービス

契約加盟数: 709

本格コーヒーや天然ミネラルウォーターなどを定期的にお届け。便利なレンタルサーバーも取り扱っています。



ユニフォームサービス / 215拠点



事業所用

ユニフォームのリース・販売とクリーニング

ユニフォームのリース・販売から、洗浄・メンテナンス・集配までトータルにサポート。多彩な業種に応じたユニフォームを多数取り揃えています。ユニフォームの洗浄では、殺菌効果のある過酢酸製剤を使用した衛生レベルの高い洗浄方法を採用しています。



ヘルス&ビューティ / 462拠点



家庭用

自然派化粧品と健康食品の販売

肌本来の美しさを引き出すスキンケア化粧品、自然素材にこだわった健康食品などを販売。美しく年齢を重ねたいお客様の毎日をサポートします。





プロのお掃除
ServiceMASTER.

サービスマスター / 1,159拠点



プロのお掃除サービス

ご家庭のハウスクリーニングをはじめ、オフィス・店舗など事業所の清掃業務まで、お掃除に関するさまざまなお困りごとをプロの技術と資器材で解決します。



緑と花のお手入れ

TotalGreen

トータルグリーン / 155拠点



緑と花のお手入れサービス

ご家庭の庭木の剪定、雑草対策、病虫害防除、芝生の手入れなど定期的なメンテナンスを実施。事業所向けにも、植栽の管理・維持や観葉植物のレンタルなどのサービスを行っています。



害虫駆除・総合衛生管理

TERMINIX

ターミニックス / 560拠点



害虫獣の駆除と総合衛生管理

ご家庭や飲食店・オフィスに発生するゴキブリ・シロアリ・ネズミなどの害虫獣を、専門的な知識と技術をもつプロが、人と環境に配慮した方法で駆除・予防します。



住まいの補修

HomeRepair

ホームリペア / 95拠点



住まいのピンポイント補修

壁の穴や床のキズ、ドアのへこみなどの部分的な補修をはじめ、住まいや事業所のさまざまなお困りごとにダスキンオリジナルの技術とサービスでお応えします。



家事の代行

merry maids

メリーメイド / 773拠点



家事代行サービス

ご家庭に訪問し、きめ細かなサービスで、お掃除や日常のさまざまな家事をお手伝い。定期的に、また必要な時のみなど、お客様に合わせたプランをご用意しています。



新しい取り組み



DUSKIN WASH

ダスキンウォッシュ

洗濯代行サービス

ご家庭の洗濯物を専用のランドリーバッグでお預かりし、個別に水洗い・タンブル乾燥をして、ご返却します。



暮らしの安心駆けつけ

DUSKIN RESCUE

ダスキンレスキュー

暮らしの駆けつけサービス

鍵の紛失時など、暮らしのトラブルに迅速に駆けつけ、確かな技術と安心のサービスで暮らしのお困りごとを解決します。



レントオール / 102拠点
(内、ベビー用品取扱:57拠点)



イベント総合サポートと各種用品のレンタル

イベントの企画立案から設営・運営・撤収までをトータルにサポート。さらに、「イベント衛生サービス」では会場の衛生対策までご提案します。また、各種イベント用品をはじめ、ベビー用品や感染対策商品・衛生関連商品など、幅広いアイテムのレンタルサービスも行っています。



ヘルスレント / 172拠点



介護用品・福祉用具のレンタルと販売

ご利用者様の自立と介助をサポートする介護用品・福祉用具のレンタルと販売。専門相談員が、生活環境や身体状況に応じた適切な商品をご提案します。



ダスキン ライフケア / 94拠点



ご高齢者の暮らしのお手伝い

ご自宅や高齢者施設にお伺いし、ご容態に応じた身体介護や身のまわりのお世話など、ご高齢者とそのご家族のニーズに合わせたプランで、サービスをご提供します。



※公的介護保険適用外のサービスです。

訪販グループ/主な関係会社



(株)ダスキンヘルスケア

医療・福祉施設の衛生管理

院内・施設内の清掃をはじめ、医療用器材などの洗浄・滅菌、高度な衛生管理や物流業務の一元化まで。衛生的な環境づくりから、効率的な運営業務まで、トータルにサポートします。また、ニーズが高まっている感染対策を重視した専門性の高いサービスも行っています。



アザレプロダクツ(株)

化粧品製造及び販売

自社ブランド「アザレ」の化粧品や医薬部外品の製造と卸販売、他社OEM商品の製造を受託しています。処方開発から製造・品質管理に至るまで、化粧品の安全性を第一に考えた製品づくりを行っています。



共和化粧品工業(株)

化粧品製造及び販売

他社OEM関連の化粧品や医薬部外品を販売しています。確かな技術と培われた経験でお取引様のさまざまなニーズにお応えし、ご満足度の高い製品づくりを追求しています。



中外産業(株)

ユニフォームの企画及び販売

中外産業は、いつも働く人のことを想いながら、より衛生的・機能的で快適なユニフォームをお客様にご提供します。



(株)EDIST

洋服等のレンタル

働く大人の女性向けに、プロのスタイリストが監修した最旬のコーディネートセットをお届けする、サブスクリプション型ファッションレンタルサービスを行っています。

誰もが、いつでも 「しあわせな時間」を 過ごせるように。

フードグループは、お客様のニーズに応える商品の開発や、居心地のよい空間づくりとおもてなしを追求し続けます。あらゆる世代のお客様に喜んでいただける、新しいおいしさと楽しさをお届けします。



ミスタードーナツ
978店

手づくりドーナツと 多彩なメニュー

選ぶ楽しさ、ほおぼるしあわせ。ドーナツを通じて「しあわせな時間」をお届けします。誰もが、いつでも、訪れるたびに「いいこと」と出会えるお店づくりを追求しています。



さまざまな商品・企画で 新たな価値を提供

ミスタードーナツでは、他ブランドと共同で商品開発し、お客様に新たな価値との出会いを提供する「misdo meets」や、朝も昼も笑顔で過ごせる「ミスドゴハン」など、新しいおいしさを追求。さらに「ミスドネットオーダー」でより便利に、注文・テイクアウトができるようになりました。

MISDO!
モスド / 1店

ハンバーガーとドーナツのお店

モスバーガーとミスタードーナツのコラボレーションショップ。両ブランドのメニューを一緒に楽しむことができます。

※(株)モスフードサービスと資本・業務提携契約を締結しています。





Pie face
HAPPY PIE HOME

パイフェイス / 2店



オーストラリア発祥のパイ専門店

パイに描かれたフェイスが楽しい、パイ&コーヒーのお店。伝統的なミートパイやスイーツパイなど豊富なメニューをご用意しています。



※店舗数(2022年3月末現在/国内のみ)

フードグループ/主な関係会社



(株)かつアンドかつ

飲食店経営

大阪を中心に、とんかつレストランを15店舗展開。柔らかくジューシーな豚肉や絶妙な食感を生む特製生パン粉など、厳選した素材を使用して、揚げたてのおいしさをご提供します。



(株)エパーフレッシュ函館

冷凍食品製造業

「ミスタードーナツ」や「パイフェイス」製品の製造など、主にフードグループ内へ製品を供給。その他、市場販売用の製品の製造など、外部OEMの受託も行っています。

ダスキンのあゆみ

創業前

1944 創業者・鈴木清一がワックスメーカーを創業。「道と経済の合一」「祈りの経営」の第一歩を踏み出した。

1959 ビルメンテナンスや清掃用品の販売をしていた鈴木清一は、アメリカのDIA運動(企業の従業員と企業との民主的な関係によって、協力関係を強める運動)の創始者であるメルヴィン・J・エヴァンズ博士と出会い、自身が目指す企業経営との共通点を見出し、博士との親交を深めた。

さらに、エヴァンズ博士の紹介で出会ったカナダのリネンサプライ会社のメンデルソン氏から、ダストコントロールのノウハウを教わる。その後も、本格的なアメリカのフランチャイズについて学ぶなど、エヴァンズ博士との出会いは、ダスキンの成長につながる大きな起点となった。



エヴァンズ博士夫妻と鈴木清一



メンデルソン氏と鈴木清一

1963~

1963 ダスキンを設立。ダストコントロール事業の第1回事業説明会を実施。加盟店14店29名が参加。この時に、経営理念を発表。

ダストコントロール商品を製造・加工する吹田工場を設立。



吹田工場の開設記念集会

1964 家庭用第1号商品「ホームダスキン」が開発され、テスト販売を実施。



当時、加盟募集に使われていた冊子



ホームダスキン

人に、社会に寄り添い、 ダスキンは喜びのタネまきを広げています。

「冷たい水拭き掃除から日本の主婦を解放したい」の想いから始まったダスキン。
いつの時代もお客様の生活がより豊かになることを願い、歩み続けています。

1963~



日本の家庭に「おそうじ革命」

お客様のお困りごとを見つけ、解決するアイデア商品・サービスを続々と発売。早くから日本にフランチャイズシステムをとり入れ、全国のお客様にお届けする仕組みを確立しました。

訪販グループ

- 1963 「ダスキン」を設立/吹田工場開設/業務用第1号モップとマットを発売
- 1964 家庭用第1号商品「ホームダスキン」全国発売
- 1971 米・サービスマスター社と提携し、プロのお掃除を行う事業(サービスマスター)をスタート
- 1976 株式会社アガとの提携により化粧品販売を行う事業(現ヘルス&ビューティ)をスタート
- 1977 害虫駆除など環境衛生管理を行う事業(現ターミニックス)をスタート
- 1978 日本初となるスーツケースやベビーベッドなどのレンタルを行う事業(現レントオール)をスタート
- 1978 ユニフォームのレンタル事業(ユニフォームサービス)をスタート



フードグループ

- 1970 ミスタードーナツ事業創業
創業者・鈴木清一が日本での事業展開を決断した1月27日を、事業創業の日としています。
- 1971 ミスタードーナツ第1号箕面パイロットショップをオープン



1980~



地域・社会の持続的な発展に貢献

フランチャイズシステムによる全国展開とともに、社会貢献への取り組みも推進。すべての人が心豊かに暮らせる社会づくりのお手伝いを進めました。

- 1981 広げよう愛の輪運動基金(現公益財団法人ダスキン愛の輪基金)を発足
- 1987 日本の企業で初めてのIFA(国際フランチャイズ協会)「栄誉の殿堂賞」を受賞



訪販グループ

- 1982 医療関連施設のマネジメントサービス事業をスタート(現株式会社ダスキンヘルスケアにて運営)
- 1989 家事の代行を行う事業(メリーメイド)をスタート
- 1994 台湾でダストコントロール事業をスタート
- 1999 庭木の管理を定期的に行う事業(現トータルグリーン)をスタート



フードグループ

- 1999 とんかつレストラン「かつアンドかつ」第1号紫金山公園店をオープン



2000~



暮らしに新しい価値を提案

多様に変化するニーズやライフスタイルの変化に合わせてサービス・商品を提案。常に時代の変化とお客様の声に耳を傾け、快適な暮らしのサポートを拡大しました。

- 2006 東京・大阪 両証券取引所(当時)の市場第一部に上場

訪販グループ

- 2000 ご高齢者の家族介護をサポートする事業(現ダスキンライフケア)をスタート
- 2004 介護用品・福祉用具のレンタルと販売を行う事業(現ヘルスレント)をスタート
- 2006 中国(上海)でダストコントロール事業をスタート
- 2009 インテリアになじむ新しいデザインの「スタイルシリーズ」第一弾、「スタイルハンディ シュシュ」を発売
※「スタイルフロアララ」、「スタイルクリーナー」は順次発売



フードグループ

- 2003 ミスタードーナツ「ボン・デ・リング」を発売
もちもち食感で大ヒット商品に
- 2004 台湾でミスタードーナツ事業をスタート
- 2008 株式会社モスフードサービスと資本・業務提携の契約を締結



2010~



社会課題の解決に挑む

衛生環境の整備がさらに求められる現在。これまで衛生サービスのプロとして積み上げてきた技術や経験を活かし、よりいっそう住まいや街の安全・安心をまもるお手伝いを進化させています。

- 2015 「ダスキンミュージアム」を創業の地(吹田市)にオープン



訪販グループ

- 2016 住まいの補修を行う事業(ホームリペア)をスタート
- 2019 新たな価値を共創する空間「ダスキンラボ」を開設
- 2020 家庭用レンタルモップが「抗ウイルス加工」と「抗菌防臭加工」のSEKマークを取得
- 2021 訪販グループのタグライン「衛生環境を整える」を新設



フードグループ

- 2010 モスバーガーとミスタードーナツのコラボレーションショップ「MOSDO」をオープン
- 2015 オーストラリア発祥のパイ専門店「パイフェイス」をオープン
- 2015 インドネシアでミスタードーナツ事業をスタート
- 2017 ミスタードーナツと他社ブランドとの共同開発商品「misdo meets」をスタート



ダスキンの
サステナビリティ
活動について
<https://www.duskin.co.jp/sus/>



人に、社会に、 そして未来に「喜びのタネ」を。

ダスキンは、創業以来継承してきた

“社会からの期待に喜びを持って応える”という想いで、

経営理念を共有・実践し、社会の持続的な発展への貢献を目指しています。

わたしたちは今後も、サステナビリティに関する課題に取り組み、

企業価値の向上を目指してまいります。

【SDGsへの貢献】



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

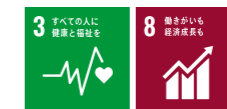
「SDGs」とは…

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標。地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。



経済価値の向上を目指して

創業以来、衛生的で快適な環境づくりのお役に立つことを目指してきた訪販グループと、お客様に安全・安心にご利用いただくことを最優先に取り組んできたフードグループ。それぞれの事業特性を活かして、多様化する社会ニーズに応えていきます。



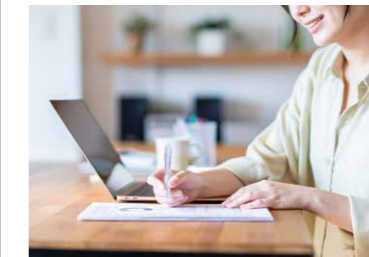
訪販グループ

衛生領域



抗菌・抗ウイルス機能において第三者機関の確認・認証が得られた衛生関連の商品やサービスを開発。また、イベントや学校等の衛生マネジメントに注力し、「お掃除のダスキン」から「衛生環境を整えるダスキン」への進化に全力で取り組んでいます。

ワークライフマネジメント領域



生活者の暮らし方や働き方が多様化し、在宅時間の充実や家事・仕事の効率化に対するニーズが高まっています。家事代行やプロのお掃除等の役務サービスでは、さらに付加価値の高い商品・サービスを開発し、お客様のワークライフをサポートします。

高齢者サポート領域



高齢者のさまざまなニーズにお応えする介護用品・福祉用具レンタルや介護サービスに注力します。さらに、公的介護保険外のみめ細かなサービスやアクティブシニア向けのサービスなどをご提案していきます。

フードグループ



これまで以上に、楽しさやおいしさをお客様に提供するため、定番商品のブラッシュアップや他企業との協業・コラボレーション企画を展開していきます。また、セミセルフレジの導入促進等による衛生管理を意識した店舗づくり、デリバリーやネットオーダーサービスの定着化に向けた取り組みを推進していきます。



社会価値の向上を目指して

社員一人ひとりが、やりがいを持っていきいきと働けるように。多様な人材を積極的に登用するとともに、健康的に個々の能力を最大限発揮できる環境づくりに努めています。また、人と人とのつながりや地域社会とのパートナーシップを大切にさまざまな取り組みも行っています。



ダイバーシティ&インクルージョンの推進

多様な個性を認め、それぞれがいきいきと働ける職場へ

ダスキンのダイバーシティは、性別・年齢・国籍・キャリア等の違いにかかわらず、お互いを尊重し、個々の能力を発揮できる職場風土を醸成することです。変化する事業環境や多様化する顧客ニーズに対応し、新たな価値や優位性を生み出し続ける会社を目指します。

管理職に占める女性割合 13%以上を目指す



女性管理職比率(人数)
11.3%(41名)
※2022年3月末現在 / ダスキン単体

障がいのある方のさらなる 雇用拡大と定着を図る



障がい者雇用率(人数)
2.7%(62名)
※2021年6月1日現在 / ダスキン単体

外国人の 活躍促進に貢献する



家事支援外国人受入事業
受入人数 **48**名
※2017年4月～2022年3月 / ダスキン単体

働き方改革と健康経営の推進

ワークライフバランスを実現する 労働環境の整備

社員が健康で、仕事と家庭生活を両立できることが重要です。そこで長時間労働の削減と、社員が働きやすい職場づくりのため、1人当たり年間労働時間を1800時間以下に抑えることを目標とし、さまざまな施策を実施しています。



健康経営優良法人2022 ホワイト500に選定

6年連続で健康経営優良法人に認定。ホワイト500は、4回目の認定となります。今後も会社(事業所)・健康保険組合・労働組合による三位一体の体制で、社員とその家族の健康維持・増進に取り組んでいきます。



ダスキン健康宣言

「社員一人ひとりの幸福を願って」

私たちは、創業以来培ってきた「祈りの経営」の理念に基づき、社員とその家族の健康維持・増進に取り組み、生きがいのある健康で心も豊かな生活の実現を図るとともに、会社の健全な発展に努め、人に社会に喜びのタネをまき続けることを宣言します。

地域との共存・共栄

学校教育支援活動の推進

2000年より、学校教育支援活動を推進。学校の掃除時間を「子どもたちの力を伸ばす時間」として活用するため、現職の先生方と研究を行い、出前授業「キレイのタネまき教室」や、教員セミナー「子どもたちの力を伸ばす学校掃除セミナー」など、学校現場の要望に応じた活動に取り組んでいます。

小学生向け出前授業



「キレイのタネまき教室」
10年間 **3,451**校
※2022年3月末現在

大阪府との連携

大阪府と「健康」、「子ども・福祉」、「地域活性化」、「ダイバーシティ・雇用促進」、「安全・安心」、「環境」、「府政のPR」の7分野にわたる連携と協働に関する包括連携協定を締結しています。その一環として、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための感染対策や啓発活動など、さまざまな公民連携の取り組みを推進しています。





環境価値の向上を目指して

循環型社会の形成に貢献していくために、ライフサイクル全体で3R(リデュース、リユース、リサイクル)+リニューアブル(資源の有効活用)を推進しています。また、脱炭素社会や自然共生社会、環境負荷が少ない社会づくりに向けて、環境課題の解決に積極的に取り組んでいます。



環境方針

私たちは環境保全と企業経営の両立に取り組み、循環型社会の実現・発展への貢献を目指してまいります。

循環型社会づくりへの貢献

廃棄物削減、資源の有効活用

- 循環型レンタルシステムの追求
- 食品ロスの削減と食品廃棄物リサイクルの推進
- プラスチック容器包装の3Rとリニューアブル(資源の有効活用)の推進

脱炭素社会の実現に向けて

気候変動への対応

- CO₂排出量の削減
- 再生可能エネルギーの利用拡大

環境負荷の低減に向けて

環境マネジメントシステムによる断続的な改善

- 環境に配慮した商品・サービスの開発
- ISO14001基準の環境配慮改善及びそれに準ずる基準で管理
- 環境教育による人材の育成

人と自然の共生に向けて

水資源、生物多様性の保全

- 用水リサイクルと水質保全の推進
- 生態系保全活動の推進
- 化学物質管理と汚染の未然防止

環境目標

ダスキンでは、2030年度までの環境経営における目標として「ダスキン環境目標2030(DUSKIN Green Target 2030)」を掲げています。

循環型社会づくりへの貢献

2030年度目標

- 食品ロス量 **半減**(2000年度比)
- 化石資源由来ワンウェイプラスチック **25%排出抑制**(2020年度比)
- 容器包装プラスチックリサイクル率 **60%**

脱炭素社会の実現に向けて

2030年度目標

- 再生可能エネルギー利用率 **50%**
- ダスキングループ拠点のCO₂排出量 **46%減**(2013年度比)

循環型社会づくり

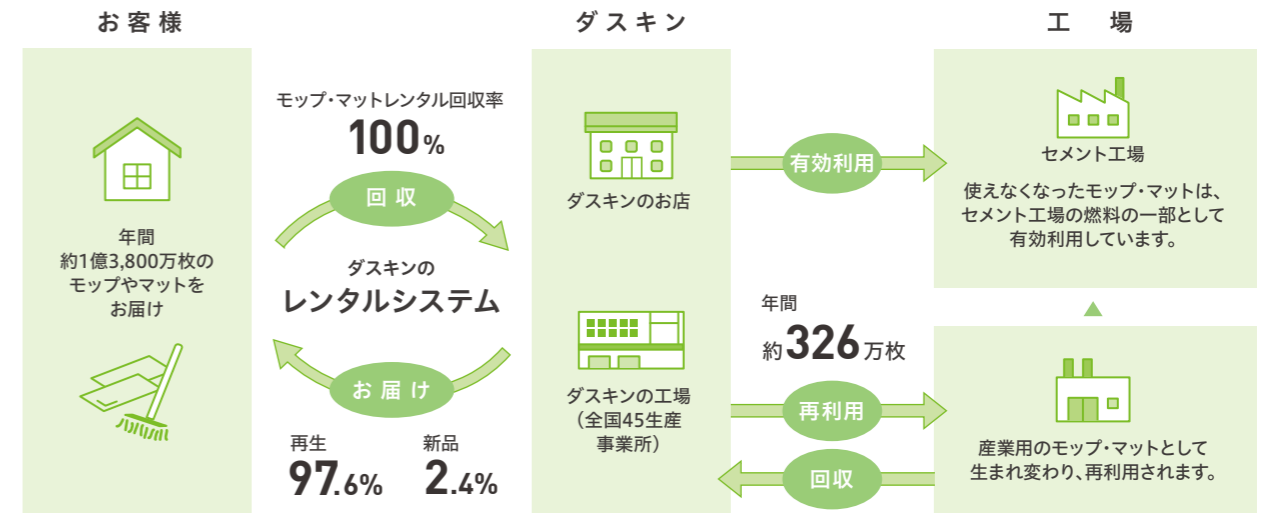
清掃用具のレンタルシステムを日本に定着させたダスキンは、ものを大切に、くりかえし使う、みんなで使う、減らす、捨てないという発想で、限られた資源の有効利用に努めるとともに、環境に配慮した事業展開を推進しています。



モップ・マットの再商品化

使用済みのモップやマットを100%回収し、工場での洗浄を経て97.6%を再商品化しています。

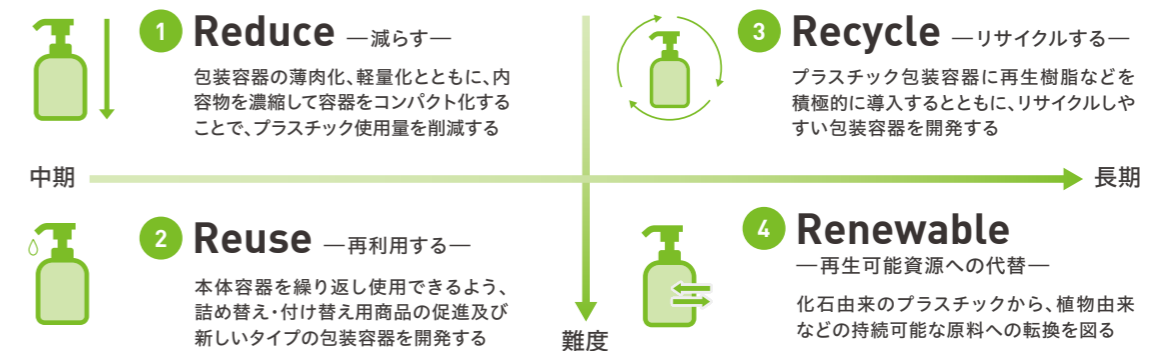
ダスキンのレンタル循環システム



※2022年3月末現在

容器包装プラスチック削減に向けた取り組み

容器包装プラスチックのライフサイクル全体を通じた資源有効活用と環境負荷低減に向けた取り組みを推進していきます。



株式会社オールプラスジャパンに資本参加

世界で問題視されている海洋プラスチックごみに起因する廃プラスチック問題に対して、企業としての社会的責任を果たし、国の定めたプラスチック資源循環戦略に対応していくために、2020年6月に事業を開始した共同出資会社「株式会社オールプラスジャパン」に資本参加。使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組んでいます。

ミスタードーナツの取り組み

ミスタードーナツでは、「エコとりくむド」をスローガンに、「省エネ」「省資源」「廃棄物削減」「リサイクル」をテーマとし、環境保全への取り組みを行っています。

<プラスチック使用量の削減>

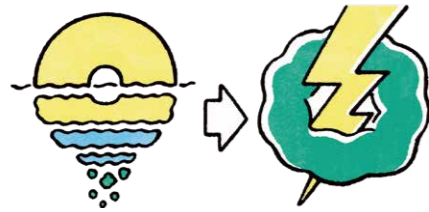


※1: 店内でご飲食されるお客様に提供。一部ショップは除く。 ※2: 一部バイオマス原料を使用した樹脂製のストロー ※3: 有料のレジ袋もご用意しています。

<食品リサイクル活動>

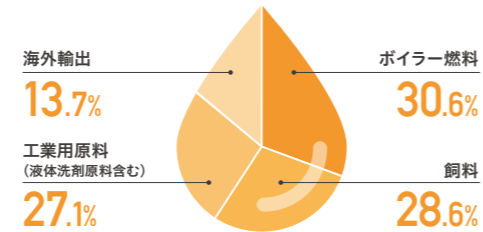
ドーナツのリサイクル

ミスタードーナツでは、製造スケジュールや廃棄チェックリストの徹底管理で、食品ロスが少しでも減るよう努めています。それでも残ってしまったドーナツは飼料化・バイオガス化させて活用。賞味期限が近い原材料の一部はフードバンクへ提供しています。



ドーナツ調理オイルのリサイクル

古くなったドーナツ調理オイルは、主に工業用の原料や液体洗剤としてリサイクルするほか、ダスキンの工場ではボイラー燃料としても活用。また、飼料やバイオ燃料用として海外へ輸出することでリサイクル100%を実現しています。



※2022年3月末現在

気候変動への対応

カーボンニュートラルLNG「CNL」の導入

燃焼させても地球規模ではCO₂が発生しないとみなす液化天然ガス「CNL」を、2021年4月よりダスキン東京多摩中央工場に導入。今後も他の工場への導入を進めていきます。

東京ガス株式会社と、ダスキンを含む企業15社により設立された「CNL バイヤーズアライアンス」を通して、CNLの普及拡大とその利用価値向上の実現を目指します。



低公害車の導入促進

ダスキンでは環境に配慮し、「ハイブリッド車」などの低排出ガス認定車両の導入を進めています。また、自動ブレーキ機能付車両の導入も積極的に進めるなど、安全面にも配慮しています。



TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)への賛同

ダスキンは、FSB(金融安定理事会)により設置されたTCFDの提言に賛同し、気候変動に関連するリスクや機会の分析を行うとともに、積極的な情報開示を進め、持続可能な社会に貢献していきます。



太陽光発電システムの導入

ダスキンの直営拠点では、再生可能エネルギーの使用により化石由来のエネルギーの削減に努めています。研修施設であるダスキンスクールでは、壁面ガラスの一部に太陽光発電パネルを採用。大阪中央工場では、太陽光発電システムを導入し、約350枚のモジュールを設置して、最大出力100kWh規模の発電を行っています。



大阪中央工場屋上

フードグループのショップでの取り組み

ミスタードーナツ及びフードグループの各店舗では、お客様にとって快適な空間の維持に配慮しながら、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。空調の設定温度や照明の必要箇所の見直し、バックエリアのこまめな消灯や水道光熱メーターの管理、ショップでのオペレーションの見直しによる省エネ化、またLEDライトや省エネ機器を導入するなど環境への負荷を低減しています。



ミスタードーナツ店舗でのLED照明の導入

水資源・生物多様性の保全

水資源の保全・有効活用

モップやマットの洗浄工程で多量の水を使用する生産事業所では、加工時における標準使用量を基準値として、取水量の管理・削減に努め、第三者保証を継続して受けています。また、使用後の汚れた水は社内の廃水処理ライセンス取得者による管理のもと、工場内で水処理を行い、法令基準よりも厳しい独自の排出基準に適合させて放流しています。



排水処理設備

自然保護の取り組み

ダスキンは、白山国立公園の登山道などにマットを44枚設置し、生態系保護の取り組みに協力。登山者の靴底に付着した外来植物の種子持ち込みを防ぐために、土砂の捕集性と耐久性に優れたマットが活用されています。



写真提供: 環白山保護利用管理協会



企業価値の向上を目指して

さまざまなステークホルダーの期待に応え、中長期的な企業価値向上を図りつつ持続的な成長を果たす企業となるため、コーポレート・ガバナンスの強化を経営の最重要課題と捉えています。また、すべての企業活動の基本に「コンプライアンス」を据え、企業価値の持続的な向上を目指しています。



コーポレート・ガバナンスの5つの特徴

取締役における
社外取締役の割合

33%

取締役9名のうち、
3名が社外取締役です。

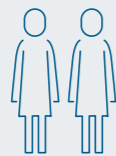


取締役評価検討会の設置

取締役評価・選任の客観性と透明性を確保するため、取締役会の諮問機関として、独立役員のみで構成する「取締役評価検討会」を設置しています。

取締役に占める
女性比率

33%



女性の積極的な選任により取締役会の多様性に配慮するとともに、当社の企業成長に不可欠な女性の活躍を推進しています。

取締役会の
出席率 100%

社外取締役も含めた各取締役は、取締役会に毎回出席し、当社の経営や業務執行に関して活発な議論を行っています。



取締役会において 重要案件の審議が十分できる体制を構築

執行役員制度を導入し、権限委譲を進めることで業務執行の迅速化を図るとともに、取締役会は重要案件の審議と業務執行の監督に専念する体制としています。

コンプライアンス／知的資産

ダスキンのコンプライアンス

ダスキンではコンプライアンスを「相手の身になって考え、行動すること」と捉え、お客様や社会から信頼されるために、「ダスキン行動基準」を制定。役員・社員全員が、日々の業務の中で実践しています。



ダスキン行動宣言

「信頼される誠実な企業」
を目指して

- ① 私たちは常に、お客様の立場に立って行動します。
- ② 私たちは常に、法律を守って行動します。
- ③ 私たちは常に、社会の良識にかなった行動をとります。
- ④ 私たちは常に、自分に対して誇りを持てる行動をとります。

知的財産の保護

知的財産の保護は事業活動に不可欠と考え、事業の展開に応じて権利取得を積極的に推進。第三者による当社の知的財産権の侵害を発見した場合は、関連する法規に基づいて適切な対応を行っています。

〈知的財産の保有件数〉

【特許】	国内/142	海外/4
【意匠】	国内/74	海外/18
【実用新案】	国内/3	海外/0
【商標】	国内/365	海外/216

※2022年3月末現在

ステークホルダー・エンゲージメント



お客様のニーズに寄り添った 商品・サービスの提供を目指す

お客様の声を直接お聞きするため、ファンミーティングを全国各地で定期的に開催。会長をはじめ各グループの本部・地域スタッフや加盟店オーナーが、お客様のご意見やご要望を直接お伺いし、商品・サービスの改良・改善につなげています。

個人投資家向け会社説明会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から従来の対面での説明会を見直し、オンラインでのライブ配信に変更。さらに、オンデマンド配信を取り入れることで感染リスクを減らしつつ、より多くの個人投資家の方に視聴していただくことが可能となりました。

説明会
延べ視聴者数 10,066名

※2022年3月期

仕入先様向け商品・サービス開発方針説明会

取引先企業とのパートナーシップの強化を図るために、品質方針やコンプライアンスの取り組みとともに、事業計画(商品サービス開発方針・購買方針)の情報を共有しています。当年度はオンデマンド配信にて説明会を開催しました。

説明会
参加企業 196社

※2022年3月期

会社概要

社名 株式会社ダスキン【DUSKIN CO., LTD.】 設立 1963(昭和38)年2月4日 全国チェーン店 お客様売上高^{※1} 3,893億円 (2022年3月期)

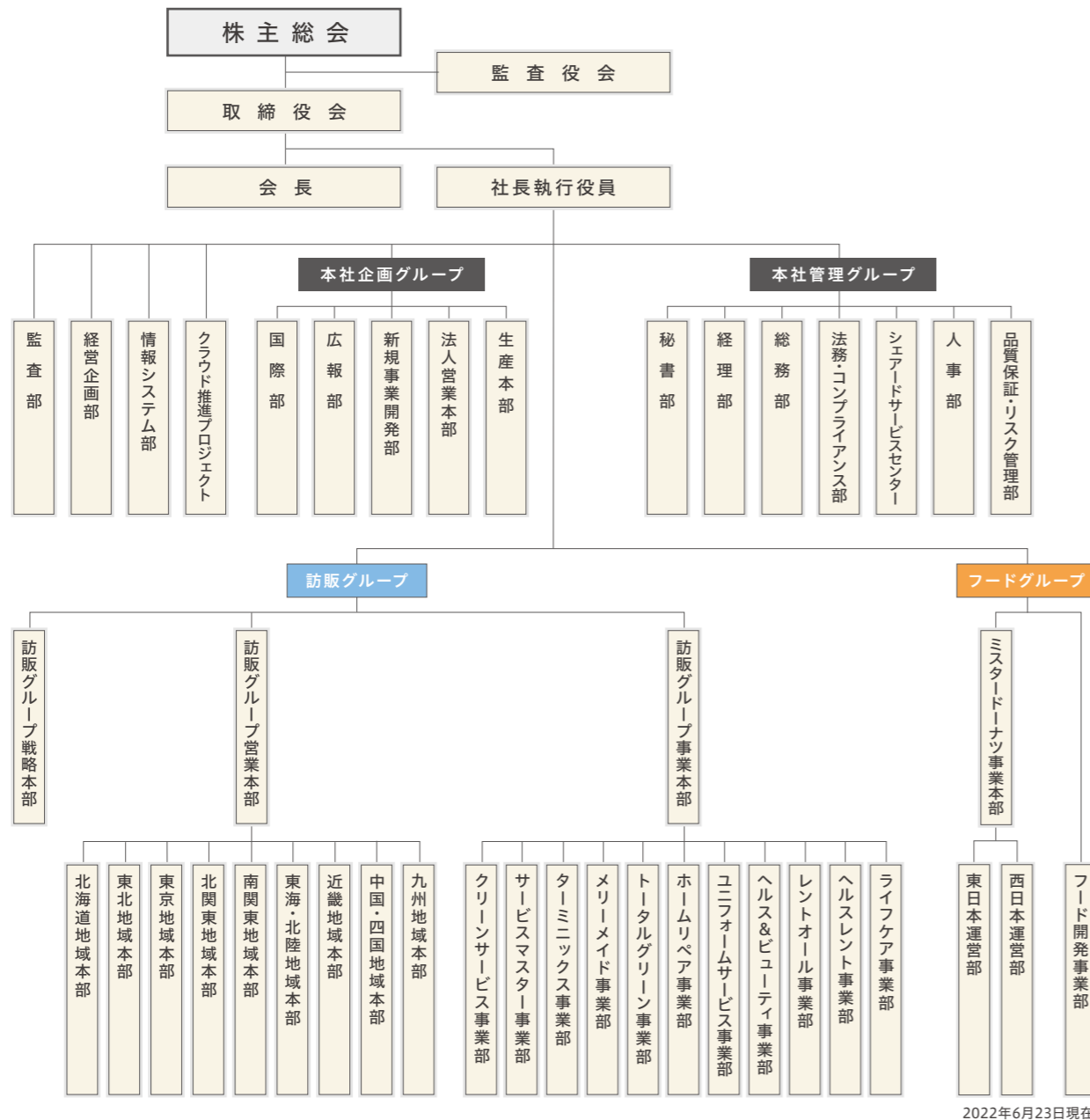
本社 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1番33号 資本金 113億円 従業員数 3,778名 連結 2,000名 単体

代表者 代表取締役 社長執行役員 大久保 裕行 売上高 1,632億円 (2022年3月期)連結 1,323億円 (2022年3月期)単体 2022年3月末現在

代表取締役会長 山村 輝治	取締役 執行役員 上野 進一郎	常勤監査役 吉田 隆司	執行役員 鈴木 琢 守田 啓司
代表取締役 社長執行役員 大久保 裕行	社外取締役 関口 暢子	内藤 秀幸	橋本 幸子 母里 和己
取締役 COO 住本 和司	辻本 由起子	社外監査役 川西 幸子	根本 誠之 平野 英司
和田 哲也	武蔵 扶実	荒川 恭一郎	江村 敬一 大工原 徹次
取締役 CFO 宮田 直人		猿木 秀和	

2022年6月23日現在

ダスキングループ組織図



沿革

2022年3月末現在

- 1963 2月 株式会社サニクリーンを設立登記
- 11月 ダストコントロール商品の初の生産拠点、吹田工場開設
- 1964 6月 株式会社ダスキンに社名変更
- 10月 化学ぞうきん「ホームダスキン」全国発売開始
- 1967 9月 モップ縫製工場開設(現株式会社和倉ダスキンにて運営)
- 1969 8月 IFA(国際フランチャイズ協会)に、日本初のメンバーとして入会
- 1971 1月 サービスマスター事業を開始
- 4月 ミスタードーナツ事業を開始。大阪府箕面市に1号店をオープン
- 7月 ホームダスキンの廃却布を再生した産業用ウエスのレンタルスタート
- 1976 11月 株式会社アガとの提携により、化粧品販売事業(現ヘルス&ビューティ事業)を開始
- 1977 4月 害虫駆除等環境衛生管理事業(現ターミニックス事業)を開始
- 1978 1月 マット製造工場開設(現株式会社小野ダスキンにて運営)
- 10月 家庭用品の総合レンタル事業(現レントオール事業)を開始
- 12月 ユニフォームレンタル事業(現ユニフォームサービス事業)を開始
- 1982 7月 医療関連施設のマネジメントサービス事業を開始(現株式会社ダスキンヘルスケアにて運営)
- 1989 7月 メリーメイド事業を開始
- 1990 9月 本社ビル「ダスキンピア」が現在地に完成
- 9月 株式会社エバーフレッシュ函館設立
- 1993 10月 新たなフランチャイズシステム「ダスキンサーヴ100」活動スタート
- 1994 12月 台湾でのダストコントロール事業を開始
- 1999 2月 かつアンドかつ事業を開始
- 4月 ケータリング事業(現ドリンクサービス事業)を開始
- 11月 トウルグリーン事業(現トータルグリーン事業)を開始
- 2000 6月 ホームインステッド事業(現ダスキン ライフケア事業)を開始
- 2003 4月 品質保証体制構築のため「品質保証委員会」設置(現サステナビリティ委員会※2021年5月1日改称)
- 4月 コンプライアンス体制構築のため「コンプライアンス推進会議」設置(現コンプライアンス委員会)
- 2004 7月 ヘルスレント事業を開始
- 9月 三井物産株式会社との包括的な資本・業務提携契約締結
- 10月 台湾でのミスタードーナツ事業を開始
- 2006 5月 リスクマネジメント体制構築のため「リスクマネジメント委員会」設置
- 11月 中国(上海)でのダストコントロール事業を開始
- 12月 東京証券取引所・大阪証券取引所の各市場第一部に上場 ※東京証券取引所と大阪証券取引所は、2013年7月16日に現物市場を統合
- 2008 2月 株式会社モスフードサービスと資本・業務提携契約締結
- 2010 10月 アザレプロダクツ株式会社及び共和化粧品工業株式会社の両社を完全子会社化
- 2014 3月 中外産業株式会社を完全子会社化
- 2015 5月 インドネシアでのミスタードーナツ事業を開始
- 10月 パイフェイス事業を開始
- 10月 ダスキンミュージアムを開設
- 2016 4月 ホームリペア事業を開始
- 2017 2月 Big Apple Worldwide Holdings Sdn. Bhd.を子会社化
- 2018 9月 株式会社ナックと資本・業務提携契約締結
- 2019 1月 株式会社かつアンドかつを設立
- 2021 5月 株式会社EDISTを完全子会社化
- 2022 4月 東京証券取引所の市場区分の見直しにより、東京証券取引所の市場第一部からプライム市場に移行

関係会社

2022年6月30日現在

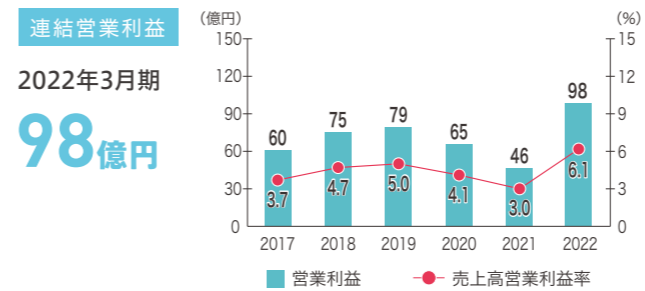
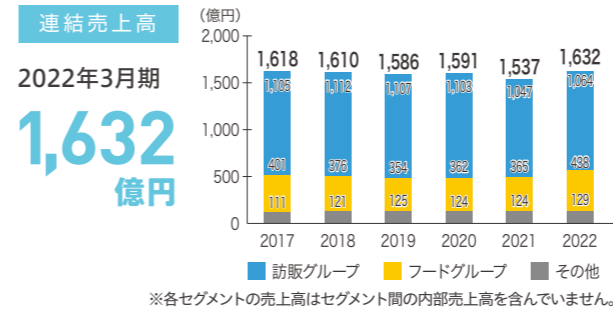
〈連結子会社〉
 (株)ダスキンサーヴ北海道 (株)ダスキンサーヴ東北 (株)ダスキンサーヴ北関東 (株)ダスキンサーヴ東海北陸 (株)ダスキンサーヴ近畿 (株)ダスキンサーヴ中国四国 (株)ダスキンサーヴ九州 (株)ダスキント和田 (株)ダスキン宇都宮 (株)ダスキン伊那 (株)ダスキン越前 (株)ダスキン八代 (株)ダスキン鹿児島 (株)ダスキン沖縄 (株)ダスキンシャトル東京 アザレプロダクツ(株) 共和化粧品工業(株) 中外産業(株) (株)和倉ダスキン (株)小野ダスキン (株)ダスキンプロダクト北海道 (株)ダスキンプロダクト東北

(株)ダスキンプロダクト東関東 (株)ダスキンプロダクト西関東 (株)ダスキンプロダクト東海 (株)ダスキンプロダクト中四国 (株)ダスキンプロダクト九州 エムディフード(株) エムディフード東北(株) エムディフード九州(株) (株)かつアンドかつ (株)エバーフレッシュ函館 ダスキン共益(株) (株)ダスキンヘルスケア (株)EDIST 楽清香港有限公司 楽清(上海)清潔用具租賃有限公司 Big Apple Worldwide Holdings Sdn. Bhd.

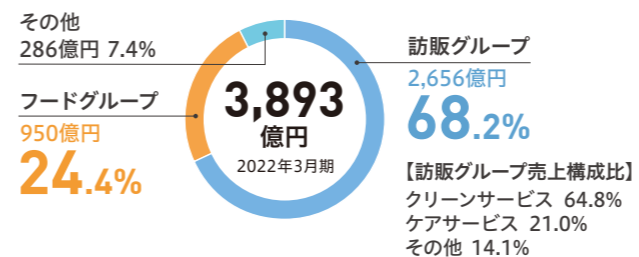
〈持分法適用会社〉
 (株)ナック 楽清服務股份有限公司 統一多拿滋股份有限公司

業績ハイライト

※記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しています。



全国チェーン店お客様売上高



※1 国内外の直営店・子会社売上高及び加盟店推奨売上高の合計を参考数値として記載しています。